

製品名: HP1 アルファ (1E8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03609**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 22 kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX5
別名	CBX5; HP1A; Chromobox protein homolog 5; Antigen p25; Heterochromatin protein 1 homolog alpha; HP1 alpha
遺伝子 ID	23468
SwissProt ID	P45973
免疫原	ヒト HP1α の合成ペプチド

背景

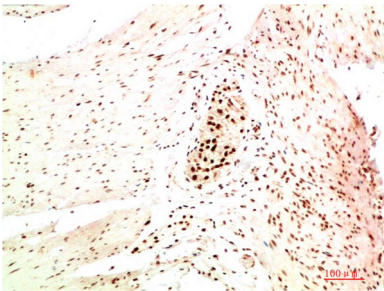
ヘテロクロマチンの構成要素で、ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化 (H3K9me) を認識して結合し、エピジェネティックな抑制を引

き起こす。一方、ヒストン H3 の Tyr-41 がリン酸化 (H3Y41ph) されると、クロマチンから排除される。ラミン B 受容体 (LBR) と相互作用する。この相互作用は、ヘテロクロマチンと核内膜の結合に寄与する。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して、機能的なキネトコアの形成に関与する。

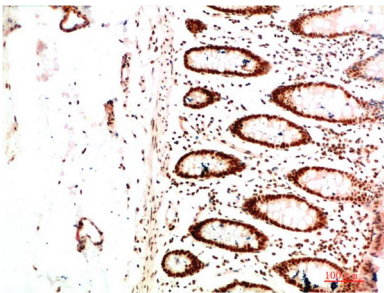
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

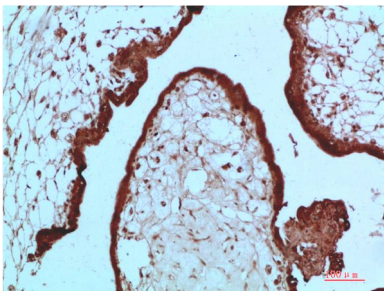
画像データ



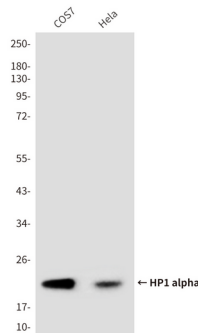
HP1 アルファ (1E8) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



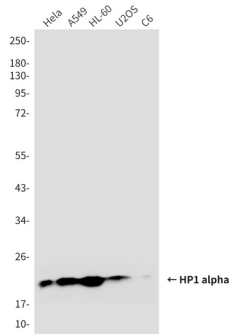
HP1 アルファ (1E8) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



HP1 アルファ (1E8) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



HP1 アルファ (1E8) 抗体を使用した COS7、Hela 溶解物中の HP1 アルファ (1E8) のウェスタンブロット分析。



HP1α (1E8) 抗体を用いた HeLa、A549、HL-60、U2OS、C6 ライセート中の HP1α のウェスタンブロット解析